

Ⅶ 放 射 能

1. 概 況

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う福島第一原子力発電所の事故を受け、同年5月に市内における空間放射線量率測定を開始しました。主に放射性セシウムを検査対象とし、市内15地点を定点として定期的に測定を行ってきました。平成27年度末に行った測定では、全ての地点で年間値に換算すると1ミリシーベルトを下回り、1時間あたりの空間放射線量率も原発事故前の数値（1時間当たり0.02～0.06マイクロシーベルト）に戻っていることを確認したため、平成27年度をもちまして、市における定期的な測定を終了しました。

現在は、国が県内8か所にモニタリングポストを設置しており、本市においては、神奈川県立城北高等学校に設置されています。10分間隔で空間放射線量が測定され公表されており、今後は、モニタリングポストの数値に大きな変動が確認された場合、市内の測定を再開いたします。

また、私有地での空間放射線量率測定の要望が多いことから、私有地については市民自ら測定することとし、平成24年2月から簡易放射線量率測定器の貸し出しを開始しました。取り扱いが容易で、放射線量の値がすぐに確認出来ることから、貸出開始当初は85%を超える稼働率でしたが、年々貸出件数は減少し、令和4年度の貸出件数は0件でした。



小田原市の鳥：コアジサシ